

## 音響信号機の増設へ

視覚障害者団体からの要望を受け、県内996基整備されている音響信号機のうち、24時間運用されているのがたったの2基であったことから、運用時間の拡大と高齢者押しボタンまたはシグナルエイドに対応する音響信号機を大幅に増やすべきと訴えました。警察本部長は「24時間の運用も含め、運用時間の拡大を図る。」「高齢者押しボタン及びシグナルエイドに対応する信号機の拡大に努める。」と答弁しました。質問翌日の12月10日付け埼玉新聞では、一面に大きく報道されました。



▲12月10日付 埼玉新聞1面

埼玉県議会  
公明党議員団

県政につなぐ。  
未来につなぐ。

2020年1月  
第3号

埼玉県議会議員

# 深谷けんじ

県議会ニュース



## 活動レポート 堤防強化で要望聞く

2019年11月15日 東松山市

11月15日、公明党・斉藤鉄夫幹事長と台風第19号で都幾川などが氾濫した東松山市へ。決壊した堤防の修復状況を把握するとともに、被災した若手農業経営者からの訴えを伺いました。



▲被災現場で切実な声を聴く。右から2人目が深谷県議。  
◀都幾川堤防の決壊現場を視察。一番右が深谷県議。



## 防災・減災対策を県政の主流に

埼玉県議会  
令和元年12月定例会での  
深谷けんじの論戦を報告します

令和元年12月定例会において、公明党県議団を代表し、深谷けんじが一般質問に登壇しました。台風第19号被害を踏まえ、私自身が現場で見てきたこと、そして県民から伺った切実な声をもとに、全10項目について質問しました。

冒頭、県民の命と財産を守るため、今こそ防災・減災対策を県政の主流に押し上げ、あらゆる対策を講ずるべき、との質問に対し、大野知事から「堤防等の災害復旧を早急に進め、計画に定めている治水対策のスピードアップを図り、防災・減災対策を県政の主流の一つとしてしっかり取り組んでいく。」との答弁がありました。

12月定例会では、231億3976万円の2019年度一般会計補正予算や「多選自粛条例」の廃止案など31議案が可決しました。

公明党が求めてきた台風第19号で被災した中小事業者への新たな補助制度の予算も盛り込まれた他、農業用機械の修繕に対する支援、堤防や道路など各種インフラ、公共施設の復旧費などが決まりました。

公明党議員団は、現場第一主義を信念に、本年も全力で動き、皆様の声を県政に反映して参ります。

### 質問項目

- 1 防災・減災を県政の主流に
- 2 令和元年台風19号被害を踏まえて
  - (1) 福祉避難所について
  - (2) 建設業との応急復旧体制について
  - (3) 県管理河川の監視体制について
  - (4) 排水機場等の整備について
  - (5) 県立学校体育館のエアコン整備、照明LED化について
- 3 災害時における停電復旧作業の連携について
- 4 JR川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架換えについて
- 5 音響信号機の整備状況と誘導音について
- 6 川越市内における内水氾濫対策について

## 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

### 埼玉県庁公明党控室

〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL048-822-9606  
FAX048-822-9408

### 自宅事務所

〒350-0015  
埼玉県川越市今泉88-14  
TEL049-236-2566  
FAX048-611-7393

県政につなぐ。  
未来につなぐ。

### 深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 45歳  
川越市出身  
創価大学文学部社会学科卒  
公明党県企業局長・青年局次長  
県土都市整備委員  
少子・高齢福祉社会対策特別委員

